



ながさき 県議会だより

11月定例会



平成26年11月定例会にて、活発な論議が交わされました

平成26年11月定例会は、11月25日から12月18日まで開かれました。定例会の本会議初日は、継続審査となっていた平成25年度長崎県一般会計決算及び各特別会計決算の認定についてなど3件の議案について認定しました。また、「平成26年度長崎県一般会計補正予算(第3号)」など27件の議案が一括上程され、中村知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに提出議案などについて提案理由の説明を行いました。

「平成26年度長崎県一般会計補正予算(第4号)」については、予算決算委員会に付託し、委員長審査結果報告の後、可決しました。

また同日、懲罰特別委員会が設置され、同委員会委員及び正副委員長を選任しました。その後、2回にわたって同委員会が開催され、12月4日、1名の議員に対し15日間の出席停止を決定しました。

一般質問では、12名の議員が登壇し、県民所得向上対策、人口減少対策、佐世保市女子高生の事業、道路の整備促進、障害児(者)の支援、教育行政、観光振興、離島振興、農林水産業の振興、長崎がんばらんば国体・大会など、さまざまな事項について活発な論議が交わされました。

補正予算については、衆議院議員総選挙等の実施に要する経費、職員給与と費の過剰の調整、災害復旧その他緊急を要する経費について編成され、一般会計で18億6329万4千円、増額、特別会計で3億5968万7千円の減額、企業会計で24万9千円の増額補正となりました。

本定例会では、県立高等学校等条例の一部を改正する条例など32件の議案を原案のとおり可決、認定、同意することとし、軽油引取税の課税免除及び特別償却制度の継続を求め、軽油引取税の課税免除及び特別償却制度の継続を求める意見書など6件の意見書、減の動議を可決し、介護報酬削減の絶対阻止と処遇改善の拡充に関する請願書など2件の請願を採択し閉会しました。

一般質問

出生率を高めるための取り組み

中島 廣義 (東彼杉町/自由民主党・愛郷の会)

【質問】本県の合計特殊出生率は、人口維持に必要な出生率に届いていない。若い男女の未婚化、晩婚化、晩産化が要因と考えられるが、県としての対策は、

【答弁】結婚を促進する施策として婚活サポート事業に取り組んで妊婦・出産・育児に特化した支援として延長保育など保育サービスの充実に取り組んでいく。今後ともこうした施策を着実に進めていく。

工業団地の整備について

八江 利春 (諫早市/自由民主党・愛郷の会)

【質問】企業誘致の受け皿となる大規模工業団地を、交通アクセスなど企業立地に適した県央地域に県が主体的に整備すべきでは、

【答弁】工業団地に立地は立地により最も受益のある市町が主体となつて地整備に取り組み、それを県が補助金等で支援して整備を促進しており、大規模工業団地に對しては起債償還利子への助成など支援を厚くしている。現在工業団地を整備しようとしている諫早市、大村市とも連携して良質な団地整備を促進したい。

長崎外環状線(新戸町IC～柳田IC)の早期事業化について

中山 功 (長崎市/改革21・新生ながさき)

【質問】国道499号の慢性的な渋滞解消のため、長崎外環状線の江川交差点への取り付けの検討状況と、今後の事業化の見込みはどうか。

【答弁】地域の交通渋滞解消に向け、現計画に加え規模の計画案について、渋滞緩和効果や事業費など総合的な検討を行っている。今後、早急に方針を固め、地元のご意見を伺いながら、国との協議や交通管理者に関する交差点協議など整備に必要な手続を進めていきたい。

教育問題について

久野 哲 (佐世保市/北松浦県/改革21・新生ながさき)

【質問】学校において一番の核になるのが道徳教育だと思つ、道徳教育の本県の現状は、

【答弁】生命尊重、規範意識、思いやりや礼儀の指導に重点を置いて道徳教育を推進するという考えのもと、全ての小中学校が、学習指導要領に示された道徳の標準時間数である年間35時間以上を実施している。

通知表にも道徳的な観点を通して、総合的な所見欄等を通して家庭にお伝えしている。

ふたたび盗まれた対馬の仏像

坂本 智徳 (対馬市/自由民主党・愛郷の会)

【質問】再び発生した文化財の盗難事件を受けて、県はどのように認識しているか。

【答弁】文化財の保護について、防犯設備の整備に対する助成や文化財保護ネットワークによる巡回や連絡体制の強化などに取り組んできたが、限界を感じている。地域の皆様のご理解が必要であるが、資料館等への委託を含め、貴重な文化財をしっかりと管理できる方法について地元対馬市とも協議を行いながら、文化財の適切な管理・保護に努めていく。

佐世保事件について

山田 朋子 (佐世保市/北松浦県/改革21・新生ながさき)

【質問】第三者委員による検討会議の中間状況を受けて、知事の所見をお聞きしたい。

【答弁】組織的な対応や関係機関との連携等、明らかになった課題については、行政機関としてやるべき対応策をしっかりと示していく必要がある。こうした痛ましい事件を絶対に繰り返してはならないという強い思いで、職員の危機管理意識を原点から見直し、組織を越えた連携体制の構築にしっかりと取り組んでいきたい。

安心して出産できるための取り組みについて

こう まなみ (長崎市/自由民主党・愛郷の会)

【質問】安心して出産できるためには、ハード・ソフト両面の体制強化が必要。現在の県取組と体制整備は、

【答弁】晩婚化や晩産化に起因する高齢出産や不妊の問題などを解決するためには、健やか妊婦・出産の正しい知識の普及と啓発が重要と見え、出前講座を大学等で開催している。

また、4ヶ所の周産期母子医療センターと地域の医療機関との連携により、周産期医療を確保する体制をとっている。

BSL-4施設建設に対する見解

江口 健 (長崎市/公明党)

【質問】長崎大学が検討しているBSL-4施設建設の必要性について県としてはどのような考えを持っているか。

【答弁】感染症の研究・治療法の開発、ワクチン・製薬等の感染症対策の推進のために必要な施設であり、本県のみならず、我が国の感染症研究にも寄与すると考え、設置するうえで、安全性の確保と地域住民の理解を得ていただく必要があるが、今後、長崎大学と長崎市の考え方を聞いて、協力を求められることがあれば、対応したい。

ジオパークへの支援について

山本 由夫 (島原市/自由民主党・愛郷の会)

【質問】阿蘇が本年9月に世界ジオパークに認定されており、島原半島ジオパークとの連携は観光面の九州横断連携のチャンスとなる。歩路み込んでジオパークの振興に取り組むべきと思うが、

【答弁】島原半島ジオパークは本県の観光にとって大変重要な役割を担っている。九州横断は様々な連携を特に観光面でも強めているところであり、共同した情報発信、集客及び観光ルートへの整備など、これからも主体的な形で地元と一緒に取り組んでいきたい。

島原道路について

松島 完 (島原市/改革21・新生ながさき)

【質問】島原道路について現在事業中のもので供用開始予定が言えるのはあるか。

また、それにより南島原市民がどれだけの時間短縮効果を受けているのか。

【答弁】吾妻から諫早間を平成30年頃までに完成したいと考えている。完成すれば、南島原市役所から諫早インターまで、島原道路を利用する東側ルートで約15分短縮、西側支所から諫早インターまでの西側ルートについても、約10分の時間短縮効果が図れると考えている。

専任司書を各学校へ配置することについて

堀江 ひとみ (長崎市/日本共産党)

【質問】学校司書の配置へ大きな後押しとなる学校図書法の一部改正を受け、県としての見解を伺いたい。

【答弁】学校図書、学校司書の重要性については認識をしており、来年度、県立高校に専任の学校司書の配置拡充を検討しているところである。

また、市町立の小中学校においても学校司書の配置が高まっていることから、地方財政措置を活用した配置促進を奨励していきたいと考えている。

県内の農協経営状況及び今後のあり方について

山田 博司 (五島市/改革21・五島)

【質問】地域農協において金融事業の分離は影響があるため、国の農協改革に対し、県もしっかりと意思表示をする考えはないか。

【答弁】地域農協の振興のために、信用事業を含む総合的な支援体制が必要と見え、農協改革については、農協系組織で検討されている自己改革案を尊重し、地域農業に支障が生じることがないよう農林水産大臣へ要請を行ったところである。

今後、国において、具体的検討が進められるものと考えており、動きを注視していきたい。

長崎県議会の活動状況等

長崎県沖縄戦没者追悼式

標記追悼式は、祖国のため尊い犠牲となられました3万5千余の中国大陸及び沖縄以南の地域における本県出身戦没者の御遺徳を偲び、御霊に感謝の誠を捧げるとともに、わが国の恒久の平和を祈念するため、毎年11月に追悼式をはじめ関係者多数の参列のもとに、沖縄県で行われています。



第14回都道府県議会議員研究交流大会

標記交流大会は、都道府県議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行うとともに、大会参加を通じて議員間の一層の連携を深め、地方分権の時代に即応した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに役立てるため、全国都道府県議会議長会の主催により毎年11月に開催されています。

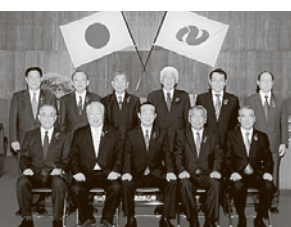
今年度は11月11日(火)に東京都内で開催され、全国から430名、長崎県議会からも11名の議員が参加いたしました。「地方自治体の将来展望と都道府県議会の役割」について、東京大学名誉教授の基調講演を受けた後、「議会運営の改革」などテーマ別に5つの分科会に分かれ、意見交換を行いました。

長崎県議会議員永年勤続者表彰式並びに全国都道府県議会議長会永年勤続功労者表彰伝達式

平成26年11月25日(火)本会議終了後、標記表彰式が長崎県議会議場において行われました。議長から表彰状と記念品の贈呈が行われ、議長あいさつ、知事からのお祝いの言葉が述べられました。

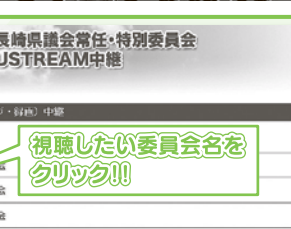
長崎県議会議員永年勤続者表彰

(在職20年) 三好 徳明議員、田中 豊国議員、馬込 彰議員
(在職15年) 吉村 庄二議員、中山 功議員



全国都道府県議会議長会永年勤続功労者表彰

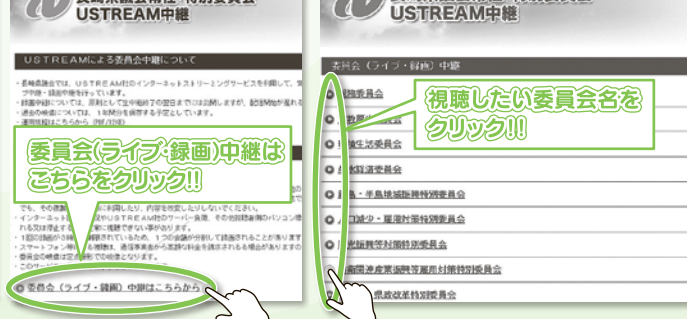
(在職20年以上) 三好 徳明議員、田中 豊国議員、馬込 彰議員
(在職15年以上) 吉村 庄二議員、中山 功議員
(在職10年以上) 中島 廣義議員



注目情報!! ~委員会中継の視聴方法~

インターネット動画サイト・ユーストリームにおいて、委員会中継(ライブ・録画)を配信しています!

- 1 もっと詳しく 長崎県議会 長崎県議会 検索
- 2 中ほどにある ユーストリーム中継のバナーをクリックする
- 3 視聴方法や注意事項をよく読んで、最後にある下記表示から入る
①委員会(ライブ・録画)中継はこちら
- 4 視聴したい委員会名をクリックする



常任委員会

総務委員会

委員長/松本 洋介

【質問】新県庁舎の建設に関し、県内経済の活性化を図るために、県内企業を下請けとすることや県内産資材を使用することについて、受注業者に申し入れを行うべきではないか。

【答弁】今回の契約はWTO対象工事であるため、県内地域に限定するなどの条件をつけることができないが、仕様書等に「県内下請け業者及び県内産資材の活用」に努めるようにと明記するとともに、受注業者には、県内下請け業者や県内産資材の活用について更なる検討を強く要請してきたい。

【主な論議事項】雲仙岳災害記念館の指定管理者の指定について/和解及び損害賠償の額の決定について/振り込み詐欺等特許詐欺について/身体障害者の職員採用について/パブリック観光ガイドマップについて/さらなる収支改善策について 等

文教厚生委員会

委員長/中村 和弥

【質問】佐世保市内女子高校生の逮捕事案に関し、今回の外部専門家を受けた検討会の経過報告書で、児童相談所職員の基本的な知識・制度に関する理解不足や、組織運営上の課題が指摘されているが、今現在の状況はどうなっているか。事件前と同じ状況なのか。

【答弁】児童相談所職員の能力向上については、従前から弁護士を活用した関係法の研修会等を行っていたが、検討会からの指摘を真摯に受け止め、専門知識を深める研修等の充実を図っているところである。また、事件後の人員体制についてはスーパーバイザーを1名追加配置するとともに、相談業務においては可能な限り相談を受理し、所内で検討を重ねながら対応するようにしている。

【主な論議事項】長崎県立大学佐世保キャンパス整備について/国体開催後の総括について/教育委員会のさらなる収支改善策(案)について/諸島炭坑の保存整備にかかる財政支援の要望について/人工内耳への助成について 等

環境生活委員会

委員長/山本 啓介

【質問】長崎県生物多様性保全戦略の見直しに関し、特定外来生物に指定されている「オオキンケイギク」が様々な場所で繁殖している。特定外来生物として、どれだけの人が認識しているのか。県民に対し、県としても周知を行う必要があるのではないか。

【答弁】特定外来生物の取締については、現在、国が主体となって取り組んでいるが、県としても、国と連携して広報を行うなど、できることをやっていたい。

【主な論議事項】県民ボランティア活動支援センターの指定管理者の指定について/長崎交通公園の指定管理者の指定について/自然公園施設の指定管理者の指定について/工事予定価格の改善について/国道57号森山広幅員について/新県庁舎の建設工事について/大村湾流域下水道整備総合計画(案)について/ながさき女性活躍推進会議について/県営バスの運賃改定について 等

農水経済委員会

委員長/中島 浩介

【質問】今年、米の価格が下落したことにより、農業者から大変苦慮しているとの声を聞いているが、どのような状況なのか。また、国はどのような対策をしているのか。

【答弁】県産米の価格は、公表されているコシヒカリでは、全国平均の114%であるが、対前年比では、全体的に15%程度下落している。国は、積立金を拠出した農業者に対し、収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)を実施しているが、県内ではこの対策への加入者が少ないことから、県としては、ナラシ対策移行のための円滑化対策を活用し、支援してきたい。

【主な論議事項】長崎県ビジネス支援プラザの指定管理者の指定について/県立佐世保技能会館及び県立諫早技能会館の指定管理者の指定について/太陽光発電設備の設置に伴う周辺環境への悪影響の有無について/FRP漁船廃船処理対策事業費について/農道の管理について 等

予算決算委員会

委員長/下条 ふみまさ

【質問】しま共道地域通貨発行支援事業費に関し、現時点で把握できている経済効果等は、どのようなものがあるか。

【答弁】平成25年度のしまへの入込客数は、前年度と比べ、4.9パーセント増加している。また、旅行商品とのタイアップについては、平成25年度は、53社、116商品であったものが、今年度は9月末時点で、74社、170商品となるなど大きく伸びており、しまの観光客の獲得に大きく貢献していると考えている。

そのほか、しまの土産物店や宿泊施設から、利用者や売上の増加につながっているとの声も寄せられている。

【主な論議事項】看護キャリア支援センター運営費について/ガントリークレーンの設置に係る債務負担行為の設定について/勤労福祉会館の管理運営負担金について 等